

銀漢亭日録



伊藤伊那男

3月9日(金)

▼寒い雨。十時過、永福町区民センター。杉並区の健康指導の保健士さんと対面。半年間の生活改善積極支援として、アルコール一日焼酎に換算して二杯分減らす、漬物、味噌汁など塩分を減らす。半年で体重五パーセント減量を目標へ。

10日(土)

▼新幹線、近鉄つないで十三時、大和西大寺駅。春耕雲の峰合同俳句大会に参加。平城京史料館の映像室にて。十五時過から俳句大会。あと二月堂下待機し、お水取のお松明を待つ。朝妻さん、おにぎりとお水取を皆に用意。その気配りに感服。十九時よりお松明十本の綺麗。二十時より親睦会。終つてカラオケ。相部屋は朝妻力、暮目良雨、柚口満さん。

11日(日)

▼二日酔気味。九時発、再び二月堂下に行き、お水取の朝の様子を散策す。興福寺国宝館。今も案内の看板は宮澤の写真。子規が泊まった対山樓跡が天平倶楽部「四季の庭」になつており、その造園をした子規の孫、正岡明さんの案内で散策。一緒に食事。あと新薬師寺、白毫寺を廻る。白毫寺では御住職に講話をお願いしたものの、うとうとと寝てしまい、やがて軒をかきはじめたよう、柚口さんに膝を打たれる。十六時解散。「蔵」を開けてもらい十数名で雪崩れ込む。少し遅れて正岡明さん来店。無理失礼誘つたから来てくださった！ 十九時半おひらき。新幹線で熟睡し零時過ぎ帰宅。

13日(火)

▼店、山崎祐子さん。「高遠句会」の大野田君。「火の会」出句十三人。広渡敬雄、代田幸子さんも参加。相子智恵さん来て選句。

15日(木)

▼「銀漢句会」終つて店へ。十四人。堀切君バリから成田へ戻つたその足で句会へ。偉い！

31日(土)

▼月次収支まとめ。十三時、「總句会」十二人。終つて洋酔さんと東中野ボレボレ劇場。いづみ、展枝さんと合流し映画「はいびと、伊那の井月」を見る。展枝ほとんど寝ている。北村監督、井月会会長堀内氏と会う。あと東中野の居酒屋「軒」。帰路、駅で相子智恵、猿丸さんと会う。

4月1日(日)

▼午後、中野サンブラザで「春耕同人句会」。あと親睦会。あと「未来図」遠藤由樹子さん達と。あと洋酔、けい吾島貫さんともう一軒。最後カラオケ……、またやりました。▼発行所「勉強会」今回は中村草田男。終つて十二人店、麻里伊・十朗さん来店。過日来店の「幡」の平石和美さんから京とり市の春筍到来！

4日(水)

▼発行所「きさらぎ句会」あと八人。洋酔さん、唯朗さん、敦子さん、歌人の東直子さんと。久々、「ヴィノテック」に寄りバスタとワイン。

5日(木)

▼橋本有史さん、京鹿子の高島正比古さんと来店。京鹿子の前主宰・丸山海道夫人の佳子顧問百歳で今も句会指導している！

7日(土)

▼「銀漢亭〇日」花見句会「超結社」で二十四人集合。五句持ち寄りあと席題で三句出しを二回。眞理子さんのからすみ、洋酔さんの煮込、淳子さんの筍ごはん、展枝さんの塩豚などなどの差し入れ。幹事清人さんが例の焼そばと、春の一日を楽しむ。

8日(日)

▼桜、木蓮、辛夷など満開。九時、整体。散髪。午後、成城。桜まつりあり孫達と散策。あと鰻ぞうすい。カラミ、刺身などで宴会。あと「サージ機で一眠り。二十時帰宅。

10日(火)

▼午前中仕入など。店「超結社」火の会。「俳句あるふあ」五月発行の「〇四号」の「戦後の百俳人」(宇多喜代子執筆)の最終回に小生の作品鑑賞掲載と。

12日(木)

▼気仙沼大島の千葉薫さん夫妻。数年前の「気仙沼海の全国俳句大会」で小生が講演に訪問したことをきっかけに俳句

17日(土)

▼終日雨。平成俳壇の選句。十七時半、上野精養軒にて鈴木鷹夫、節子夫妻の「門」創刊二十五周年、三百号記念祝賀会。余興の江戸手品「手妻」見事。終つて菊田平、山田真砂年、水田光雄さんと上野の居酒屋。帰宅零時。

18日(日)

▼小雨。正午、町田の薬師池公園。久重薫子さんの「早蕨句会」に招かれる。観梅。鶴川のいこい会館にて句会十六人。句会の途中から久重さんからの久保田萬寿、八海山、瀬戸さんからの飛魚の丸干などが出て酒盛り。あと和民にて親睦会。

20日(火)

▼平成俳壇選句追込み。本日締切日。と……、ピンポイント急便で翌月分ダンボールで届く。快晴。温かし。午後、青山梅窓院の妻の墓。渋谷まで歩いて戻り少酌。

23日(金)

▼朝、家の血圧計高く出るので心配になり医者。150/84でまだ大丈夫だろうと。原因を探るため採血。結果は来週末。雨。客少なし。

24日(土)

▼二十二時、石神井公園駅集合。「石神井公園吟行会」あいにくの雨ながら四十八人集合。三寶寺池素晴らしい。ふるさと館にて五句出し句会。十七時、駅前「和民」四十人。十九時半、武田禪次花果家に招かれ何と三十四人が押しかける。バスで荻窪経由にて帰宅。

26日(月)

▼盤水の一句、星雲集選評ほか。第五十一回「湯島句会」四十三人集合。出句は百数名。まだまだ新しい人も入会中。

29日(木)

▼レジー、家の掃除に入る。先日、奈良にてお会いした正岡子規の孫に当る正岡明さん、明日、中尊寺にて講演会あり上京と。寄つてくれる。丁度、対馬康子さん他がいて話弾む。

30日(金)

▼「メタルワン句会」のシカゴの会員、桜山さん来店とて七人集合。桜と山で三句出し句会参加。慶大茶道会の先輩、広野さん(姫路)、八田さん来店。「雲の峰」の高野清風同人会長、一橋大学の仲間と四人など。

14日(土)

▼十時、発行所「運営委員会」。昼、「いもや」の天ぷら。十三時よりひまわり館にて「本部句会」五十人。井上井月の軸装「蟬螂のものしげに道へ出る」を持参して皆に見てもらふ。あと、「笑笑」二十人位。「気仙沼海の俳句大会」の案内状が来たが、こもろ日盛俳句祭の予定と重なり出席できず。支援募金集める。

15日(日)

▼「俳句」六月号特集「自句自解」一〇〇俳人の代表句」の稿。午後、次女杏子の次男颯斗君一歳の誕生祝。婿の両親とも合計大人七人、子供六人。

18日(水)

▼高校同期会八人。伊那から小池百人君。発行所「はてな句会」終つて岸本、坊城さんなど六人。「湯島句会」運営会八人程。事業部打合せ。

19日(木)

▼「銀漢句会」終つて十九人店。新しい方も二人入会と。井上井月の映画「はい人井月」という酒沢山到来。

21日(土)

▼正午、鎌倉宮(大塔宮)集合。「火の会」吟行会。十三人。永福寺跡、瑞泉寺など吟行し天野小石さんの実家にて箸掘り。句会一回。日影茶屋の仕出弁当刺身などで懇親会。久保田の「紅寿」。

22日(日)

▼犬の散歩の他、終日家に缶詰。「湯島句会」の選句、先週の「銀漢句会」選句。「銀漢」六月号用の選句全部済ませる。角川通信添削講座五人分。「俳句平成俳壇」選句二日遅れで仕上げる。六月号添削教室。しゃかりきな一日。酒抜く。午後から雨。

24日(火)

▼「湯島句会」店に三十八人集合。運営すみやか。

24日(火)

▼ひまわり館「萩句会」。選句へ。終つて花果さんのお汁粉を食べる会で大半の方が来店。全体淋しく二十一時看板。